

KINDAI KENCHIKU

近代建築

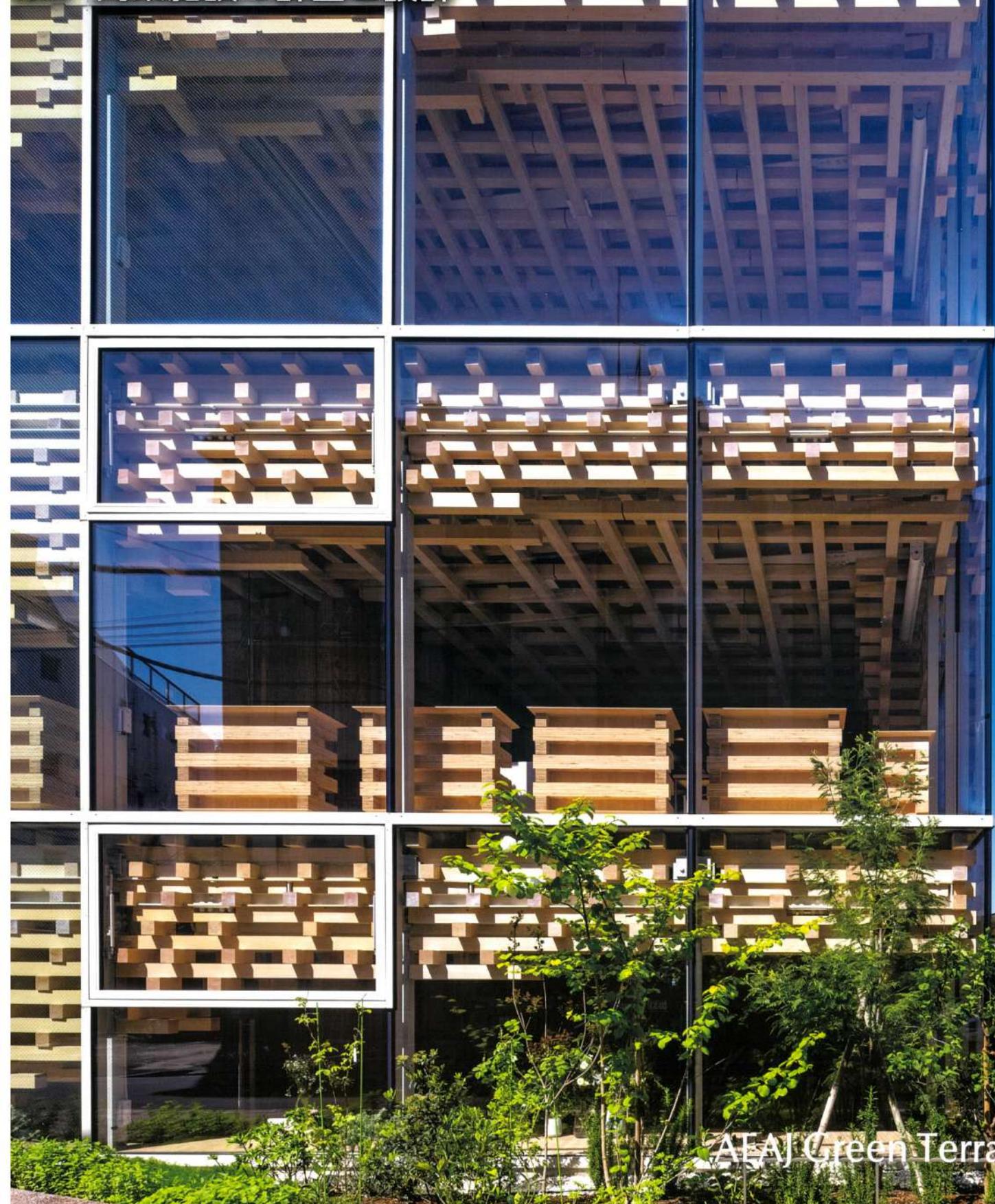
January

1

Vol.78

2024

特集 商業施設の計画と設計



ATAJ Green Terrace

DG本社ビル

大阪市浪速区

設計・監理／東畠建築事務所

施工／安藤ハザマ



シナジーが誘発されるオフィスを目指して
大阪市浪速区日本橋、日本有数の電気街近くに建つ本社オフィス。家電製品や日用品を取り扱う生活関連企業グループの本社ビル整備プロジェクトである。「暮らしにもっとバリューを響かせます」という企業メッセージのもと、社員一人ひとりの成長と活躍のために、働きやすくシナジーが誘発されるオフィス建築を目指した。

一暮らしをつくる企業アイデンティティを 表すオフィス

全体デザインは、日々の暮らしを扱う企業グループの本社ビルとして、グループの目指す「様々な響き合い（シナジー）」や調和を感じさせるデザインを目指した。

街との共生と調和を考えた外観として、前面道路に面した北面ファサードを、成長を続けるグループの伸びやかさと力強さをイメージし窓幅に変化を持たせた連続するスリット・カーテンウォールとした。その他の面では騒音抑制や熱負荷低減等の機能面で窓面積を抑えたスリットサッシのランダムパターンとし、様々なリズムを奏でながら街と調和するファサードデザインとした。

また、特に1階エントランスホールは、企業と街とがつながる空間として視覚的に開かれたデザインとともに、緑の少ない周辺環境に対し、高木を中心とした緑の景観の提供および、夜間照明により新しい街の景観をつくり出す計画としている。

— 安らぎとコミュニケーションを 大事にするオフィス

オフィスフロアは、生活関連グループ企業のオフィスとして、そこで働く一人ひとりの成長と活躍を促し、ゆとりを感じ働ける場所づくりを念頭に、フロア中央に配置した階段やオープンなEVホールを中心に、上下階移動がしやすくコミュニケーションを誘発させる平面計画とした。またオフィス内装についても、自宅リビングの延長のような親しみやすいイメージとし、特徴的な緑色のタイルカー

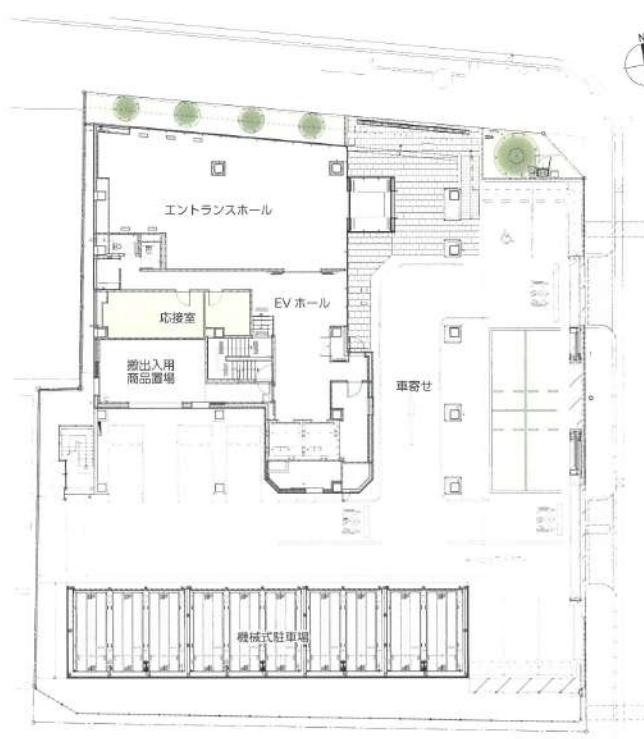
ペットにより、さわやかで明るいオフィスの雰囲気を生み出している。

来訪者をお迎えする1階については、凜とした空気感の中にも木材利用や家具によって、柔軟なイメージを持たせている。また最上階7階に配した屋外テラスのあるリフレッシュラウンジは、柔らかな外光を感じながら食事や休息等、仕事の疲れを癒す空間であり、組織や会社の枠を超えて、グループ間のコミュニティを高める場所となることを意図している。

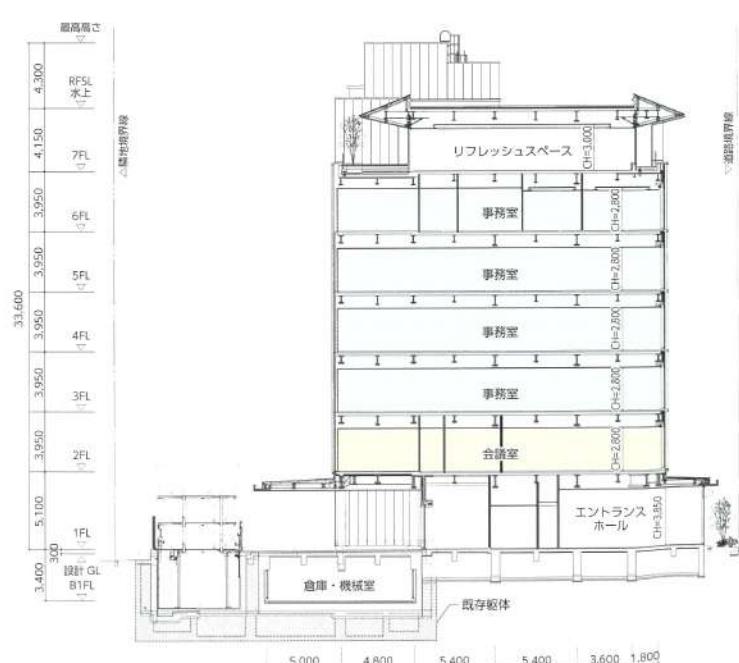
（串本佑介、山本裕之／東畠建築事務所）



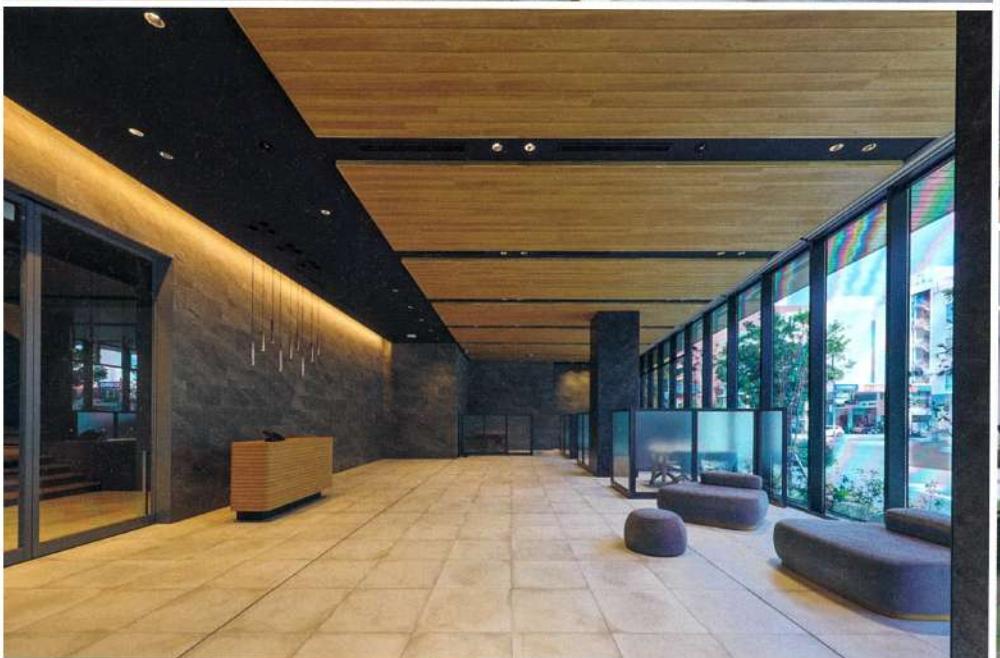
左上／北側外観 左下／エントランスアプローチ 右／南東側鳥瞰



配置・1階平面図 縮尺1/500



断面図 縮尺1/500



左上／リフレッシュスペース 左下／エントランスホール 右上／テラス 右中／スタジオ 右下／事務室

「できることからやってみる」環境配慮ビル

— ZEB Readyへの取り組み

事業主グループが積極的に取り組むSDGsの視点にそった新社屋の建設とするため、「できることからやってみる」の行動理念のもと、中小ビルにおける既存技術を積極活用した環境配慮ビルのモデルケースとして、ZEB化に取り組みZEB Readyを達成している。具体的には「外皮の熱負荷を低減し断熱性を高める」デザインとして、敷地条件を生かした北面ファーサードで年間を通じて明るく快適で開放感ある執務環境を構築するとともに屋根および外壁の断熱性能向上を図った。「省エネルギー設備の積極採用」として、高効率型ビル用マルチエアコンの採用、天井カセット形室内機のセンシング機能や全熱交換器のCO₂センサー制御・24時間微弱運転等の採用、照明のセンサー制御(人感センサー・明るさセンサー)等により、省エネルギー化を図っている。

— 既存の地下躯体を利用した構造計画

本プロジェクトは本社ビルの現地建替え事業であり、新ビルは旧本社ビル地下躯体内に新ビル地階を構築する環境負荷を抑えた合理的な計画とした。

具体的には旧ビル地下壁を仮設山留として利用するとともに、既存建物がべた基礎形式であることを生かし、旧ビル地下ピットに流動化処理土を充填することで旧ビル基礎躯体を人工地盤面として利用。また新ビル地下部の基礎をマットスラブ形式のべた基礎とすることで基礎高さを抑え、新ビル基礎躯体を旧ビル地下階高さ内に納める計画としている。

— 近接する高速道路に対する振動対策

敷地東側を通過する高速道路からの交通振動(上下動)対策として、建物周囲に柱状改良(WIB工法)を施すことで高速道路基礎躯体からの伝播振動の低減を図るとともに、各階床下に

床面制振(TMD)装置を設置することで床振動の制振を行い、効果を発揮している。

(蛇草久純、杉田雄希、西槇毅／東畠建築事務所)



安岡 寛治……やすおか かんじ
1967年大阪府生まれ。1986年東畠建築事務所入所。現在、同社設計室部長



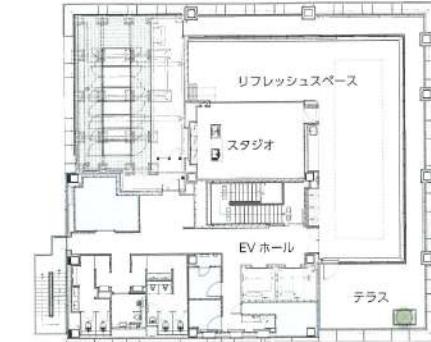
串本 佑介……くもと ゆうすけ
1984年広島県生まれ。2008年大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻建築工学コース修了。同年東畠建築事務所入社。現在、同社設計室主管



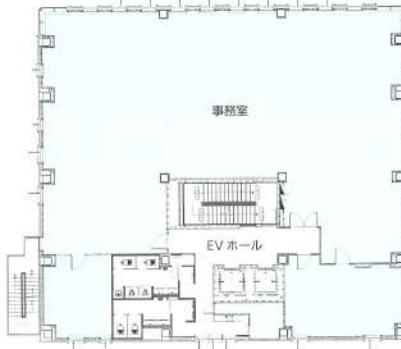
山本 裕之……やももと ひろゆき
1990年奈良県生まれ。2014年立命館大学大学院理工学研究科環境都市専攻建築都市デザインコース修了。同年東畠建築事務所入社。現在、同社設計室技師



上／北側ファサード見上げ 下／北東側鳥瞰



7階平面図



5階平面図



地下1階平面図 縮尺1/500

施工計画

当工事は、都市部の建物密集地での工事であり、交差点角地の立地でもあったことから、交通車両の搬出入および歩行者への配慮が必要かつ、南側には近隣住民の生活動線があり、特に安全確保に配慮して施工を行った。

施工にあたっては、既存躯体の自立検討やACW頂部取合いの納まり、陸屋根と鉄骨や外壁の納まりと止水対策等、細かなスケッチを何度も描いて施工図へ反映させるとともに、施工後の現地確認や各部の漏水試験など、品質重視の施工手順を忠実に実施した。また、今回外壁に採用された大判タイルの施工にあたっては、設計者と協議を重ねながら試験施工を何度も行い、下地ECPの反りやタイル自体の反り、貼り付け後のヴィズラートのかけ方など細部まで徹底的に拘り、作業所独自のルールをつくり、施工に反映した。

敷地のすぐ東側には阪神高速道路も通ってい

ることから、交通振動対策を目的とした地盤改良(WIB工法)や免振装置(TMD)が配置された設計であったこと、地下の既存躯体を一部残置させて仮設山留めや基礎を一部負担する計画でもあったため、解体工事からの入念な準備が必要不可欠だったこと、敷地境界際での杭施工の養生計画など、幾度の施工検討を行い、関係者各位との密な協議を重ね、無事に完成を迎えることができた。

(鬼束 学／安藤ハザマ)



建方状況

鬼束 学……おにつか まなぶ

1977年生まれ。1997年大阪工業技術専門学校建築学科卒業、2009年間組(現・安藤ハザマ)入社



[主な外部仕上げ]

屋根 アスファルト保護防水断熱工法保護コンクリート押え庇 フッ素ガルバリウム鋼板横葺(7階庇)、同材粘接着工法一文字葺(1階庇)、アルミフッ素樹脂焼付塗装(各層小庇)

軒天 木目調アルミスパンドレル

外壁 ECP縦張りの上大判タイル張り(北面)・特殊現場塗装(東・南面)・フッ素樹脂工場塗装(西面)

建具 アルミカーテンウォール(フィン含む)BB-2種、アルミサッシBB-2種、鋼製建具DP塗装

外構 磁器質タイル

[主な内部仕上げ]

1階エントランスホール 床・壁/磁器質タイル 柱型/メラミン化粧板 天井/木目調羽目板、EP塗装

2階会議室・各階事務室 床/タイルカーペット 壁/壁紙 天井/岩綿吸音板

各階EVホール 床/タイルカーペット 壁/壁紙・メラミン化粧板 天井/岩綿吸音板

7階リフレッシュルーム 床/メラミンタイル 壁/壁紙・メラミン化粧板 天井/木目調羽目板

撮影/近代建築社(清水向山山)

撮影(外観・エントランスホール) /時空アート(花城辰男)

撮影(北側ファサード見上げ) /東畠建築事務所

協力会社

電気設備	受電方式/6.6kV高圧1回線受電	変圧器容量/970kVA	予備電源/ディーゼル発電機80kVA(BCP対応)
空調設備	空調・換気方式/執務室:電気式空冷ヒートポンプパッケージエアコン+全熱交換器 便所・倉庫:消音ボックス付送風機・天井換気扇		
衛生設備	給水/直結増圧ポンプ方式	給湯/局所給湯方式(電気温水器)	排水/污水・雑排水合流方式
防災設備	消防/屋内消火栓設備・連結送水管・消火器・誘導灯設備・自動火災報知設備	排煙/自然排煙	
昇降機	乗用(13人乗り)×1基、乗用(11人乗り)×1基		
特殊設備	地下3段式機械式駐車場(車両30台)、音響映像設備(100形電動スクリーンのみ本工事、機器は別途工事)		